

## 平成28年度 調査結果と授業改善のポイント〔小学校・社会〕

社会科については、児童の平均正答率は66.9%で、全国平均の67.7%を0.8ポイント下回っている。問題の内容別の平均正答率では、「工業生産と貿易」が2.5ポイント全国平均を上回っている一方、「わたしたちの生活と環境」が5.1ポイント下回っている。

評価の観点別の平均正答率では、昨年度より改善は見られたが、全ての観点が全国平均を下回っている。

解答形式別の平均正答率では、「記述式」が6.4ポイント全国平均を上回っている。「選択式」「短答式」については、昨年度より改善は見られたが、全国平均を下回っている。

対象児童数	設問数	平均正答率（県）%	平均正答率（全国）%	全国との差
875人	30問	66.9	67.7	-0.8

種別		対象設問数	平均正答率（県）%	平均正答率（国）%	全国との差	
問題の内容	国土の自然などの様子	世界の中の国土	3	73.1	72.5	0.6
		日本の国土と人々の暮らし	3	61.0	63.4	-2.4
		わたしたちの生活と環境	3	62.1	67.2	-5.1
	農業や水産業	日本の農業と水産業	6	74.4	74.5	-0.1
		日本の食料生産	3	52.0	56.3	-4.3
	工業生産	自動車をつくる工業	4	76.3	74.3	2.0
		工業生産と工業地域	3	82.7	81.7	1.0
		工業生産と貿易	2	42.9	40.4	2.5
	情報産業や情報社会	わたしたちの生活と情報	3	58.9	59.2	-0.3
評価の観点	社会的事象への関心・意欲・態度	12	63.7	63.9	-0.2	
	社会的な思考・判断・表現	14	64.8	65.0	-0.2	
	観察・資料活用 of 技能	15	69.6	69.8	-0.2	
	社会的事象についての知識・理解	21	67.2	68.2	-1.0	
解答形式	選択式	22	70.2	71.4	-1.2	
	短答式	6	53.2	54.8	-1.6	
	記述式	2	71.7	65.3	6.4	

## 【領域・単元ごとの定着状況】

○：全国正答率を上回る設問、▼：全国正答率を下回る設問、<>内の数値は県の平均正答率、（ ）内の数値は県と全国の正答率の差

〈国土の自然などの様子〉

○梅雨についての理解をもとに、資料を読み取ることができるかを問う設問〔選択〕〈技〉<71.5> (+3.9)

▼日本の地形についての理解をもとに、資料を読み取ることができるかを問う設問〔選択〕〈技〉<69.4> (-6.4)

〈農業や水産業〉

○稲作の生産効率を高めるための工夫について、資料を基に考えたことを問う設問〔選択〕〈思〉<80.5> (+9.9)

○食料には輸入しているものがあることを示す資料について、考えたことを問う設問〔選択〕〈思〉<68.7> (+6.0)

▼稲作に従事している人々による品種改良の目的について、考えたことを問う設問〔選択〕〈思〉<51.3> (-19.4)

▼食料自給率について、理解しているかを問う設問〔短答〕〈知〉<32.9> (-16.8)

〈工業生産〉

○工業生産に従事している人々による環境保全への取組について、資料を読み取って考え、表現することができるかを問う設問〔記述〕〈思〉<74.7> (+7.6)

▼工業生産を支える貿易に関係する資料を読み取ることができるかを問う設問〔選択〕〈技〉<50.1> (-5.9)

〈情報産業や情報化社会〉

○情報産業の役割や責任の大きさについて、考えることができるかを問う設問〔短答〕〈思〉<60.1> (+6.4)

▼情報を受け取る側の正しい判断の必要性について、考えることができるかを問う設問〔選択〕〈思〉<57.0> (-4.3)

□ 「やまなしスタンダード 授業づくりの7つの視点」などによる社会科授業づくりの再点検

- 手順1 学習内容を再点検する。（学習指導要領，教科書を読む）
- 手順2 評価規準を再確認する。（『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料』を参照する）
- 手順3 教師自ら，社会的事象の意味や特色を再検討する。（「知識を整理した図」等を作成・活用する）
- 手順4 教科書の資料・地図帳の資料などの提示の仕方・提示の順番を考えておく。
- 手順5 「単元の学習問題」から「単元のまとめ」までを見通し，主体的な学びを実現する単元の流れを考える。
- 手順6 上記の手順を確認し，「やまなしスタンダード」の視点を持ち，毎時の授業を展開する。

□ 学習した用語・語句を授業の中で積極的に使う「対話的な学び」の重視

- 3・4年の例 「市の北の方は，山が多く『森林』が多いことが分かりました。」「B班が調べた南の方はどうですか？」「市の南の方は『森林』よりも『田畑』が多い事が分かりました。」「分かったことをまとめると，『土地の使われ方』は，『土地の高さ』と・・・。」
- 5年の例 「『情報化』が進み，私たちのくらしはとても便利になりました。」「しかし，『個人情報』が悪用される不安はないのかな。」「『個人情報』の悪用って，どんな事ですか？」・・・。
- 6年の例 「豊富秀吉が，『刀狩』や『検地』を行った理由を発表します。それは，『身分』を区別し・・・。」

□ 学習のまとめをつなぎ言葉を使うなどして，自分の文脈で表現する活動の重視

- ケース1 (クラスのまとめ) 「・・・のため・・・いろいろな人々が活動している。」  
(自分のまとめ) 「例えば，〇〇や〇〇は，・・・していることが分かりました。」
- ケース2 (クラスのまとめ) 「日本の食料自給率は，・・・と分かった。」  
(自分のまとめ) 「なぜならば，〇〇グラフによると，〇〇だったからです。」
- ケース3 (クラスのまとめ) 「日本国憲法には，・・・基本的人権の尊重が・・・」  
(自分のまとめ) 「その結果，〇〇や〇〇が，つくられたのだと思います。」

□ 資料を積極的に活用する授業の重視

- 点検1 社会科の授業が，資料を活用した追究ではなく，教科書本文の読解に陥っていないか。
- 点検2 地図帳が，教科用図書として，索引を駆使するなど追究のために有効活用されているか。
- 点検3 「わたしたちの生活と環境」など3学期の単元において，資料が有効活用されているか。

【正答率の高い設問】 上位3題

No.	設問の内容	正答率 (%)
1	工業生産に従事している人々によるユーザーの安全のための工夫について，理解しているかを問う設問〔選択〕〈知〉	95.5
2	様々な工業製品が国民生活を支えていることについて，理解しているかを問う設問〔選択〕〈知〉	95.3
3	日本の主な食料生産物の分布に関する資料を読み取ることができるかを問う設問〔選択〕〈技〉	86.9

【正答率の低い設問】 下位3題

No.	設問の内容	正答率 (%)
1	食料自給率について，理解しているかを問う設問〔短答〕〈知〉	32.9
2	日本が工業の原材料を多く輸入していることを理解しているかを問う設問〔短答〕〈知〉	35.7
3	日本海側の気候についての理解をもとに，資料を読み取ることができるかを問う設問〔選択〕〈技〉	42.1

【無解答率が高い設問】 下位3題

No.	設問の内容	無解答率 (%)
1	日本が工業の原材料を多く輸入していることを理解しているかを問う設問〔短答〕〈知〉	13.5
2	食料自給率について，理解しているかを問う設問〔短答〕〈知〉	12.9
3	森林資源の働きについて，理解しているかを問う設問〔短答〕〈知〉	11.9